

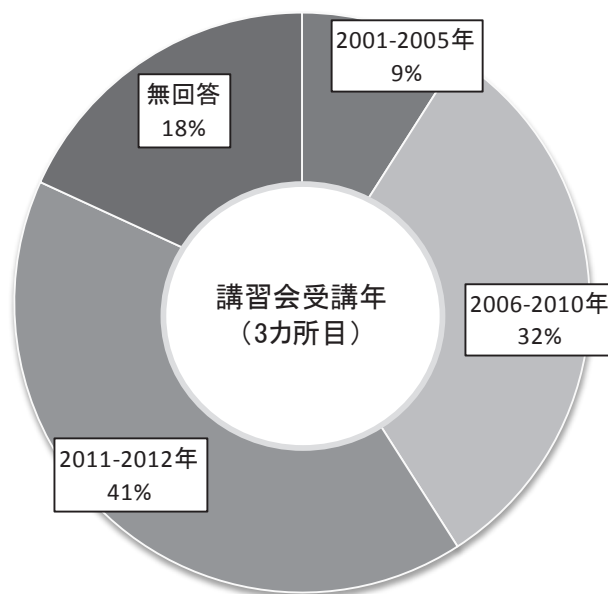
■ 講習会受講年（3カ所目）

複数の養成研修を受講した人の中で3カ所目は「2011-2012年」に受講した人の割合が最も高く 40.9%

・次いで、「2006-2010年」31.8%、「2001-2005年」と続く。

表・図 2-2-28 講習会受講年（3カ所目）

	人数	割合
2001-2005年	2	9.1%
2006-2010年	7	31.8%
2011-2012年	9	40.9%
無回答	4	18.2%
合計	22	100.0%



■ 講習会受講時間（3カ所目）

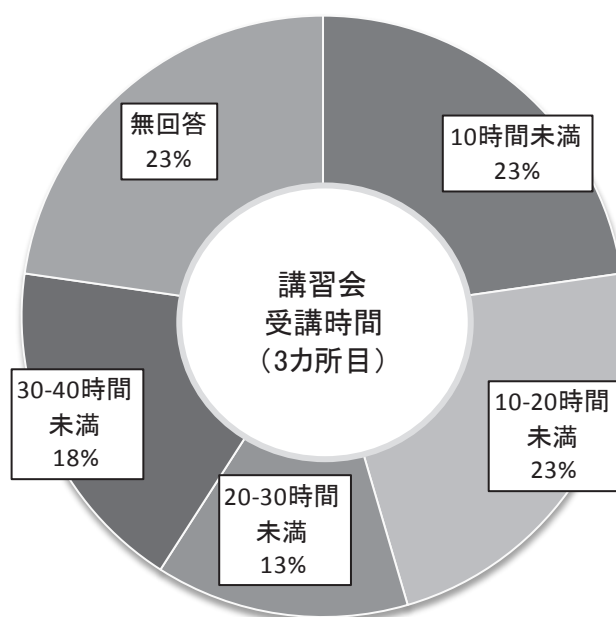
複数の養成研修を受講した人の中で3カ所目の受講時間では「10時間未満」が最も高く 22.7%

・次いで、「10-20時間未満」22.7%、「30-40時間未満」13.6%となっている。

・「20-30時間未満」が最も低く 13.6%となっている。

表・図 2-2-29 講習会受講時間（3カ所目）

	人数	割合
10時間未満	5	22.7%
10-20時間未満	5	22.7%
20-30時間未満	3	13.6%
30-40時間未満	4	18.2%
無回答	5	22.7%
合計	22	100.0%



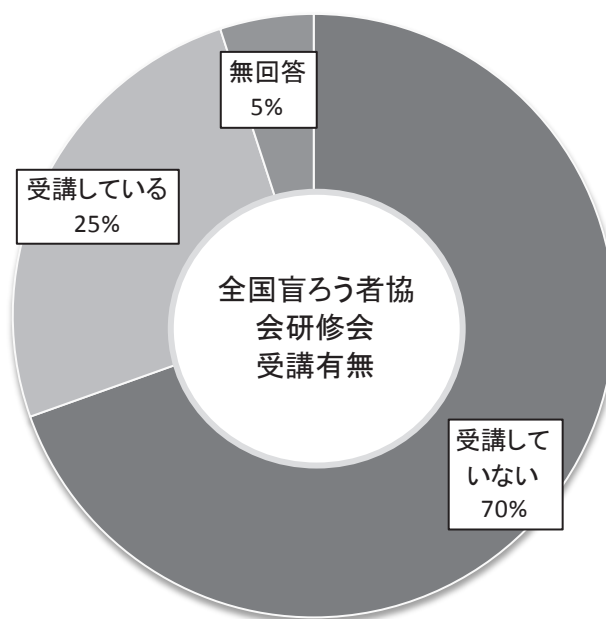
（２）機関・団体主催の研修会の受講状況

■ 全国盲ろう者協会研修会受講有無

全国盲ろう者協会研修会を「受講している」人の割合は25.4%

表・図 2-2-30 全国盲ろう者協会研修会
受講有無

	人数	割合
受講していない	1165	69.6%
受講している	426	25.4%
無回答	84	5.0%
合計	1675	100.0%



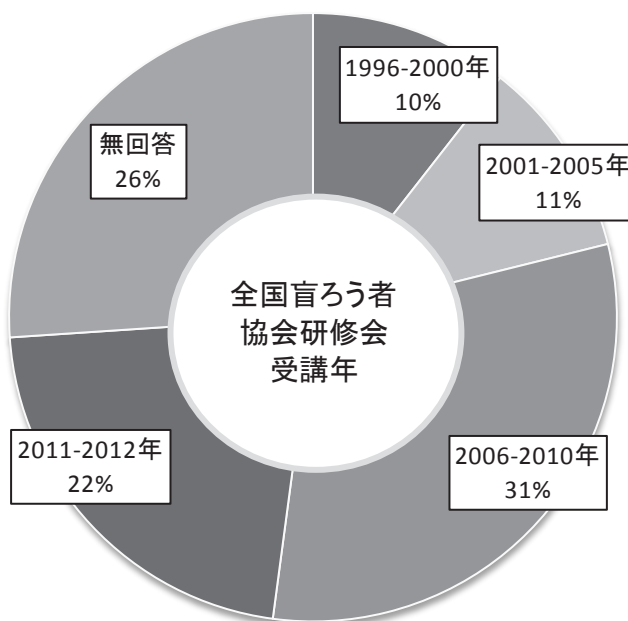
■ 全国盲ろう者協会研修受講年

全国盲ろう者協会研修会を受講した人の中では「2006-2010年」が最も高く31.0%

・次いで、「2011-2012年」21.8%と続く。

表・図 2-2-31 全国盲ろう者協会研修受講年

	人数	割合
1996-2000年	45	10.6%
2001-2005年	45	10.6%
2006-2010年	132	31.0%
2011-2012年	93	21.8%
無回答	111	26.1%
合計	426	100.0%

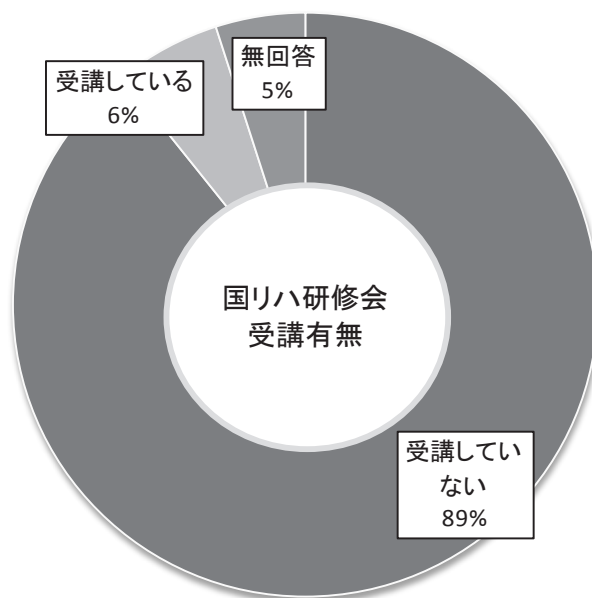


■ 国立障害者リハビリテーションセンター学院研修会の受講有無

国立障害者リハビリテーションセンター学院研修会を「受講している」人の割合は 5.8%

表・図 2-2-32 国立障害者リハビリテーションセンター学院研修会の受講有無

	人数	割合
受講していない	1495	89.3%
受講している	97	5.8%
無回答	83	5.0%
合計	1675	100.0%



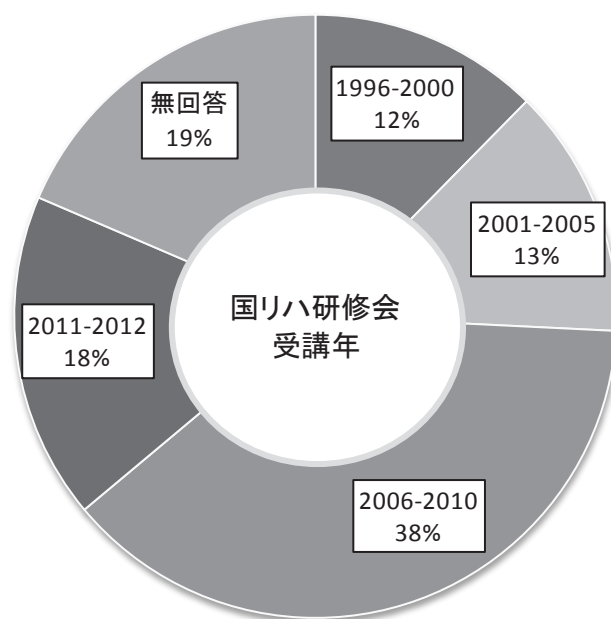
■ 国立障害者リハビリテーションセンター学院研修会受講年

国立障害者リハビリテーションセンター学院研修会を受講した人の中では「2006-2010 年」に受講した人の割合が最も高く 38.1%

・次いで、「2011-2012 年」17.5%、「2001-2005 年」13.4%と続く。

表・図 2-2-33 国立障害者リハビリテーションセンター学院研修会受講年

	人数	割合
1996-2000	12	12.4%
2001-2005	13	13.4%
2006-2010	37	38.1%
2011-2012	17	17.5%
無回答	18	18.6%
合計	97	100.0%



(3) コミュニケーション方法の習得状況

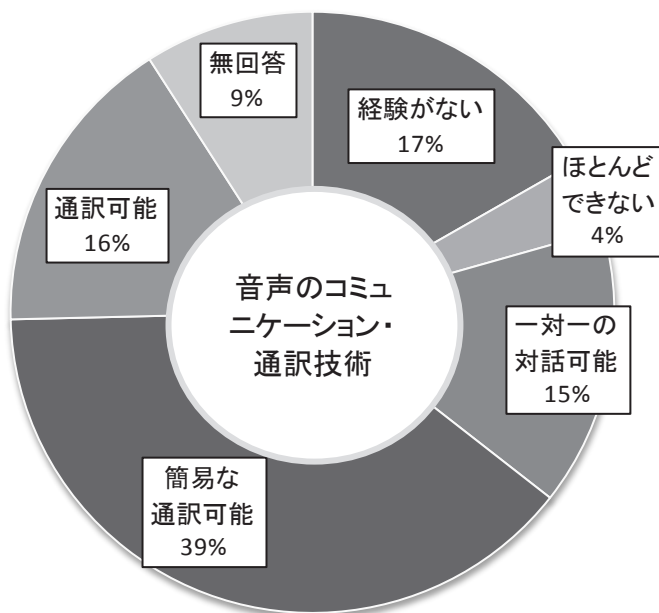
■ 音声（聴覚）のコミュニケーション・通訳技術

「簡易な通訳可能」とする人の割合が最も高く 39.0%

・次いで、「経験がない」16.7%、「通訳可能」16.3%と続く。

表・図 2-2-34 音声（聴覚）の
コミュニケーション・通訳技術

	人数	割合
経験がない	280	16.7%
ほとんどできない	65	3.9%
一対一の対話可能	251	15.0%
簡易な通訳可能	654	39.0%
通訳可能	273	16.3%
無回答	152	9.1%
合計	1675	100.0%



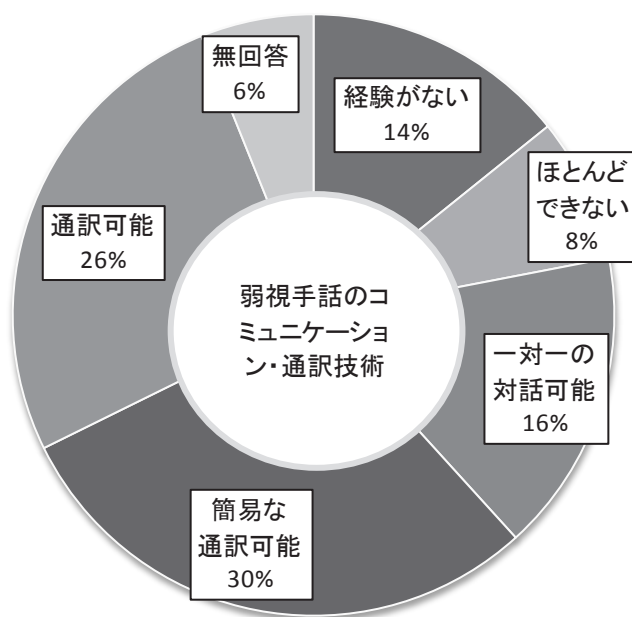
■ 弱視手話（接近手話）のコミュニケーション・通訳技術

「簡易な通訳可能」とする人の割合が最も高く 29.4%

・次いで、「通訳可能」26.2%、「一対一の通訳可能」16.3%と続く。

表・図 2-2-35 弱視手話（接近手話）の
コミュニケーション・通訳技術

	人数	割合
経験がない	238	14.2%
ほとんどできない	130	7.8%
一対一の対話可能	273	16.3%
簡易な通訳可能	493	29.4%
通訳可能	439	26.2%
無回答	102	6.1%
合計	1675	100.0%



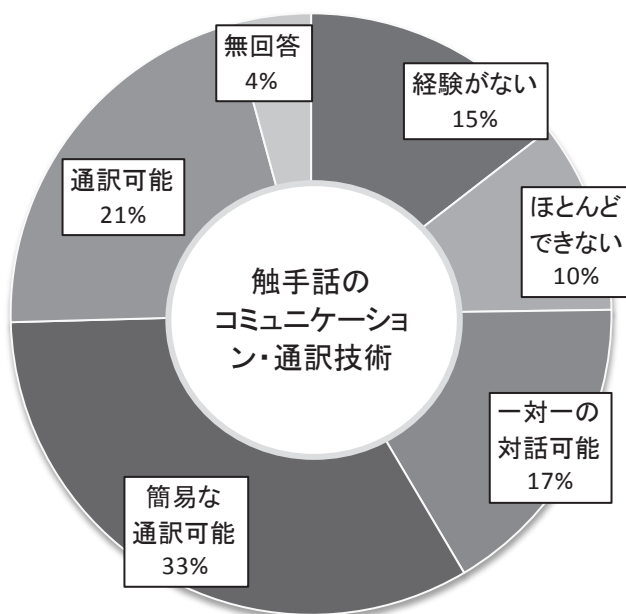
■ 触手話（触読手話）のコミュニケーション・通訳技術

「簡易な通訳可能」とする人の割合が最も高く 33.1%

・次いで、「通訳可能」21.2%、「一対一の通訳可能」16.7%と続く。

表・図 2-2-36 触手話（触読手話）の
コミュニケーション・通訳技術

	人数	割合
経験がない	243	14.5%
ほとんどできない	172	10.3%
一対一の対話可能	280	16.7%
簡易な通訳可能	554	33.1%
通訳可能	355	21.2%
無回答	71	4.2%
合計	1675	100.0%



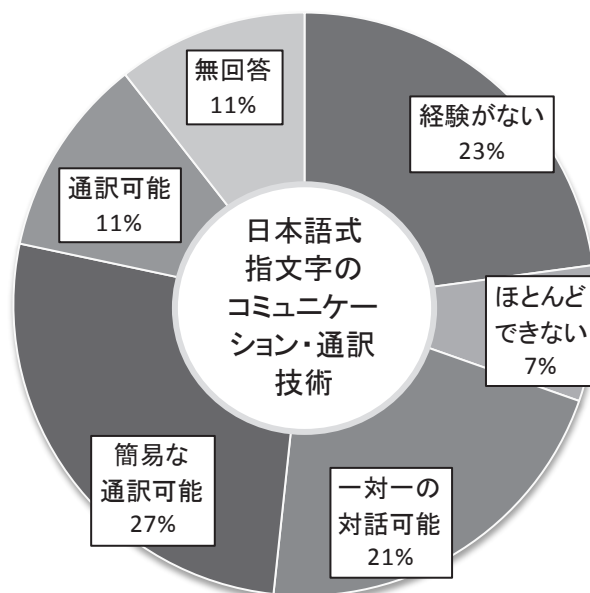
■ 日本語式指文字のコミュニケーション・通訳技術

「簡易な通訳可能」とする人の割合が最も多く 26.6%

・次いで、「経験がない」22.9%、「一対一の通訳可能」21.3%と続く。

表・図 2-2-37 日本語式指文字の
コミュニケーション・通訳技術

	人数	割合
経験がない	383	22.9%
ほとんどできない	126	7.5%
一対一の対話可能	357	21.3%
簡易な通訳可能	446	26.6%
通訳可能	186	11.1%
無回答	177	10.6%
合計	1675	100.0%



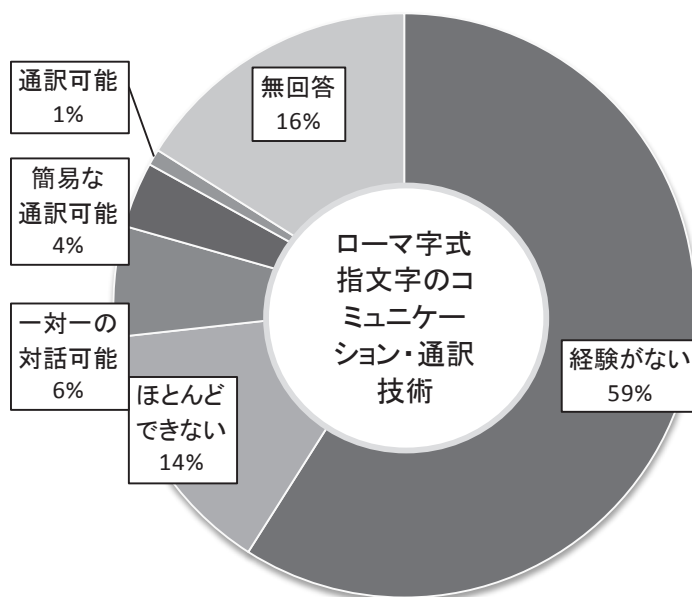
■ ローマ字式指文字のコミュニケーション・通訳技術

「経験がない」とする人の割合が最も高く 59.0%

・次いで、「ほとんどできない」14.3%、「一対一の通訳可能」6.1%と続く。

表・図 2-2-38 ローマ字式指文字の
コミュニケーション・通訳技術

	人数	割合
経験がない	988	59.0%
ほとんどできない	239	14.3%
一対一の対話可能	103	6.1%
簡易な通訳可能	61	3.6%
通訳可能	15	0.9%
無回答	269	16.1%
合計	1675	100.0%



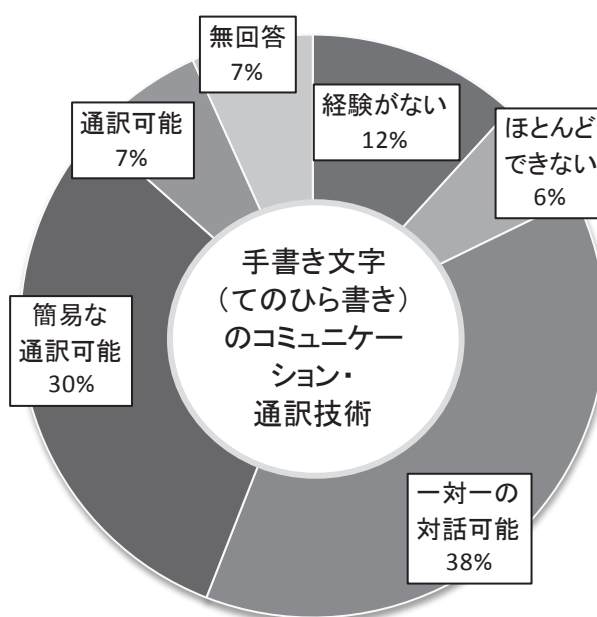
■ 手書き文字（てのひら書き）のコミュニケーション・通訳技術

「一対一の通訳可能」とする人の割合が最も高く 38.1%

・次いで、「簡易な通訳可能」30.6%、「経験がない」11.8%と続く。

表・図 2-2-39 手書き文字（てのひら書き）
のコミュニケーション・通訳技術

	人数	割合
経験がない	197	11.8%
ほとんどできない	101	6.0%
一対一の対話可能	639	38.1%
簡易な通訳可能	513	30.6%
通訳可能	112	6.7%
無回答	113	6.7%
合計	1675	100.0%



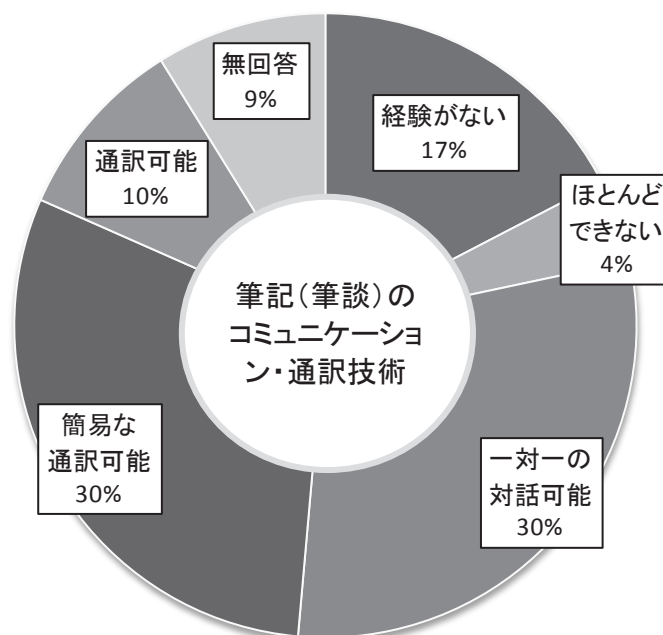
■ 筆記（筆談）のコミュニケーション・通訳技術

「簡易な通訳可能」とする人の割合が最も高く 30.2%

・次いで、「一対一の通訳可能」29.7%、「経験がない」17.4%と続く。

表・図 2-2-40 筆記（筆談）の
コミュニケーション・通訳技術

	人数	割合
経験がない	291	17.4%
ほとんどできない	72	4.3%
一対一の対話可能	498	29.7%
簡易な通訳可能	506	30.2%
通訳可能	160	9.6%
無回答	148	8.8%
合計	1675	100.0%



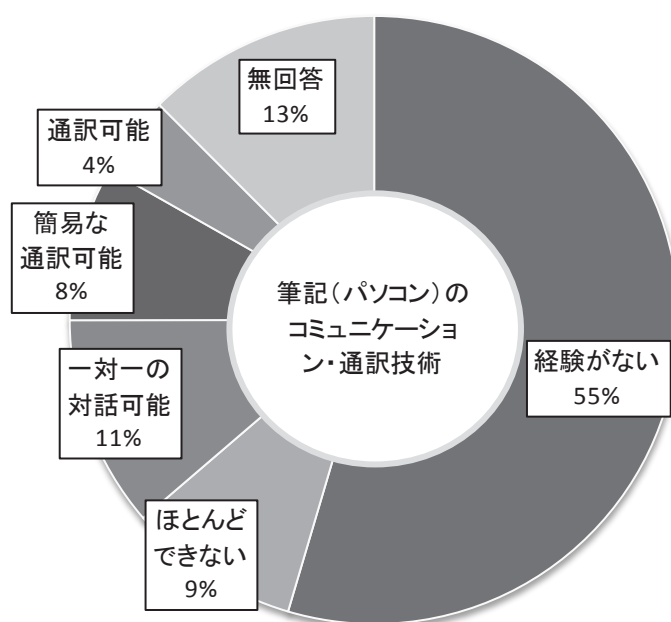
■ 筆記（パソコン）のコミュニケーション・通訳技術

「経験がない」とする人の割合が最も高く 54.6%

・次いで、「一対一の通訳可能」11.3%、「ほとんどできない」9.1%と続く。

表・図 2-2-41 筆記（パソコン）の
コミュニケーション・通訳技術

	人数	割合
経験がない	914	54.6%
ほとんどできない	153	9.1%
一対一の対話可能	189	11.3%
簡易な通訳可能	138	8.2%
通訳可能	72	4.3%
無回答	209	12.5%
合計	1675	100.0%



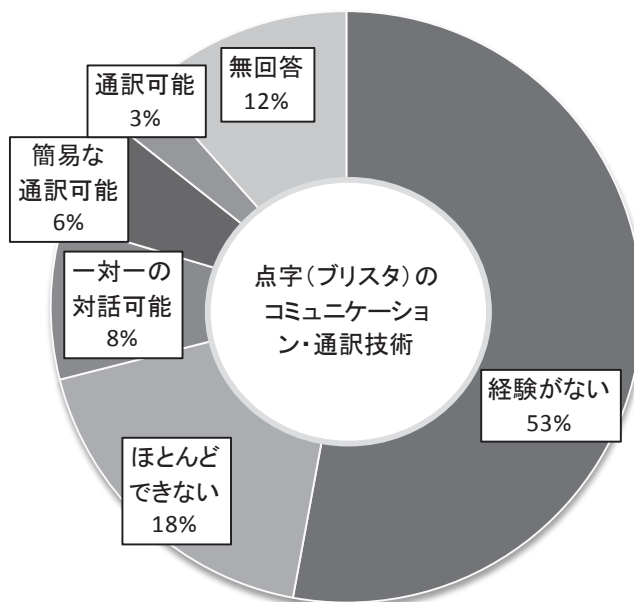
■ 点字（ブリスタ）のコミュニケーション・通訳技術

「経験がない」とする人の割合が最も高く 52.9%

・次いで、「ほとんどできない」18.1%、「一対一の通訳可能」8.5%と続く。

表・図 2-2-42 点字（ブリスタ）の
コミュニケーション・通訳技術

	人数	割合
経験がない	886	52.9%
ほとんどできない	304	18.1%
一対一の対話可能	143	8.5%
簡易な通訳可能	102	6.1%
通訳可能	46	2.7%
無回答	194	11.6%
合計	1675	100.0%



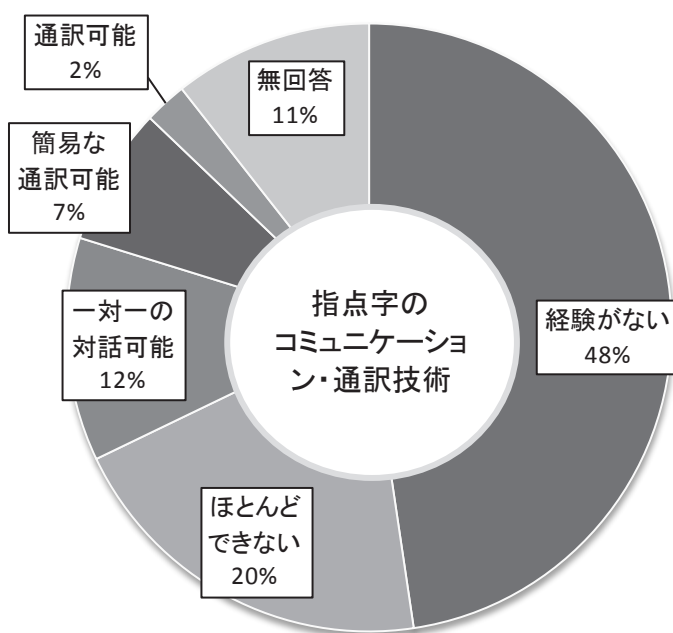
■ 指点字のコミュニケーション・通訳技術

「経験がない」とする人の割合が最も高く 47.6%

・次いで、「ほとんどできない」20.2%、「一対一の通訳可能」11.9%と続く。

表・図 2-2-43 指点字のコミュニケー
ション・通訳技術

	人数	割合
経験がない	798	47.6%
ほとんどできない	339	20.2%
一対一の対話可能	199	11.9%
簡易な通訳可能	123	7.3%
通訳可能	38	2.3%
無回答	178	10.6%
合計	1675	100.0%



（４）通訳・介助員養成講習会の受講により習得したコミュニケーション方法

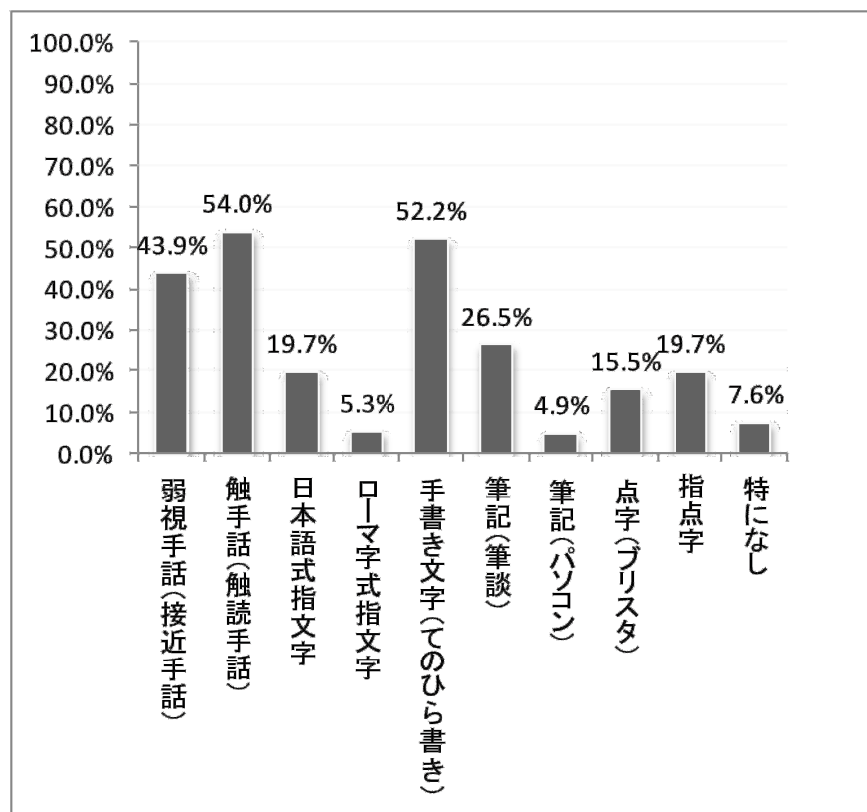
「触手話」が最も多く 54.0%

- ・次いで、「手書き文字」5.25%、「弱視手話」43.9%と続く。
- ・「筆記（パソコン）」が最も低く 4.9%となっている。

表 2-2-44 講習会で習得したコミュニケーション方法

	人数	割合
弱視手話（接近手話）	534	43.9%
触手話（触読手話）	657	54.0%
日本語式指文字	240	19.7%
ローマ字式指文字	65	5.3%
手書き文字（てのひら書き）	635	52.2%
筆記（筆談）	322	26.5%
筆記（パソコン）	60	4.9%
点字（ブリスト）	188	15.5%
指点字	240	19.7%
特になし	92	7.6%

図 2-2-44 講習会で習得したコミュニケーション方法



（５）通訳・介助員養成講習会の有用度

■ 講習会有用度

「とても役に立つ」とする人の割合が最も高く 60.0%

・次いで、「まあまあ役に立つ」 20.2%、「どちらともいえない」 5.3%と続く。

表 2-2-45 講習会有用度

	人数	割合
とても役に立つ	730	60.0%
まあまあ役に立つ	322	26.5%
どちらともいえない	65	5.3%
あまり役に立たない	23	1.9%
まったく役に立たない	3	0.2%
無回答	73	6.0%
合計	1216	100.0%

図 2-2-45 講習会有用度

